# 日本キリスト教団 東金教会〔30〕

2020年7月26日聖霊降臨節第9主日礼拝

年度目標　《教会の民として生きる》

聖　句　良いし知らせをエルサレムに伝える者よ。
声をあげよ、恐れるな　　イザヤ書40章9節

## 【礼拝式次第】

| | |
|---|---|
| 司式 | 井上 |
| 奏楽 | 中村 |
| 受付 | 津久井 |
| 案内 | 寺内 |
| 名札係 | 井上 |
| 礼拝感謝祈祷 | 薬師寺 |
| 〃　〃 | 足立 |

| | | |
|---|---|---|
| 前奏 | | 中村 |
| 讃美歌 | 61 | 一同 |
| 使徒信条 | 566 | 〃 |
| 交読文 | 28 | 司・会衆 |
| 主の祈り | 564 | 一同 |
| 聖書 | | 司会者 |

〈マルコ福音書３章1節～６節〉

| | | |
|---|---|---|
| 祈祷 | | 井上 |
| 新聖歌 | 353 | 一同 |
| み言葉の伝え | | 中村 |

〈律法の心〉

| | | |
|---|---|---|
| 讃美歌 | 525 | 一同 |
| 献金 | | |
| 礼拝感謝 | | 薬師寺 |
| 〃　〃 | | 足立 |
| 報告 | | 井上 |
| 頌栄 | 541 | 一同 |
| 祝祷(派遣) | | 中村 |
| 後奏 | 新聖歌58 | 聖歌隊 |

## 【集会案内】

聖研祈祷会7月29日(水)19:30～
早天祈祷会7:00～(除・木/日/祭日)メーヤー館
ＣＳ教師会＆説教準備会　本日礼拝後
聖書輪読会8月2日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷8月2日(日)10:25-10:30

## 【報告】

☆次週は総員礼拝日です。聖餐式がございます。コロナウィルス蔓延下でありますが慎重の上に慎重を期して礼拝に与りたいと願っております。

☆例年と異なり教会学校ではＣＳ夏季学校及びＣＳ一泊夏期学校は中止です。但し幼稚園・保育園の夏期行事(8/3～8/5)及び園庭整備(8/6～8/8)は予定しております。幼・保園及び教会学校の為にお祈り下さい。

☆８月３０日は梅田先生に講壇をお守り戴く予定です。ご加祷下さい。

☆千葉支区祈りのカレンダー（掲示板）
今週は北柏めぐみ教会(鈴木脩平牧師)が対象教会です。お祈り下さい。

☆マルコ福音書連続講解説教のCD希望者は牧師まで申出下さい。

## 【次週(８月２日)聖餐式当番者】

| | |
|---|---|
| 配餐者 | 安延．藤本 |
| 祈祷者 | 寺内．岡村 |

## 【7月２６日～８月１日の誕生者】

○7/２６小原　姉　○7/27福見　姉

※互いに主に繋がる枝です。祈り合わせて行きましょう。

## 【先週集会状況】

| 集会名 | 男 | 女 | 計 |
|---|---|---|---|
| 主日礼拝(7/19) | 17 | 31 | 48 |
| 聖研祈祷会(7/22) | 3 | 1 | 4 |
| 聖書輪読会(7/19 | 2 | 3 | 5 |
| 教会学校(7/19 | 5 | 9 | 14 |
| | | | |
| | | | |

| 早天祈祷会 | | | |
|---|---|---|---|
| 日 | 男 | 女 | 計 |
| 7/20 | 1 | 1 | 2 |
| 7/21 | 1 | 1 | 2 |
| 7/22 | 1 | 1 | 2 |
| 7/24 | 1 | 2 | 3 |
| 7/25 | 1 | 1 | 2 |

| | |
|---|---|
| 主日礼拝献金(7/19) | 46,500円 |
| 教会学校献金(7/19) | 5,800円 |

## 【今日のメッセージ】

題　〈律法の心〉

聖　書　マルコ福音書3:1～6

1・戻って

2・真ん中に立たせて

3・律法の心

## 【次週(8月2日)礼拝式案内】

み言葉の伝え　〈潮目が変わる〉

| | |
|---|---|
| 聖書 | マルコ福音書3：7～11 |
| 交読文 | 29 |
| 讃美歌 | 29番　187番 |
| 新聖歌 | 339番 |

## 【次週(８月２日)礼拝式当番者】

| | |
|---|---|
| 御言葉の伝え | 中村 |
| 司式者 | 安延 |
| 奏楽者 | 中里 |
| 受付者 | 坂本 |
| 案内者 | 薬師寺 |
| 名札当番 | 藤本 |
| 礼拝感謝祈祷 | 藤本 |
| 〃　〃 | 阿波谷 |
| ｃｓお話し | 森川 |
| 会堂清掃者 | 幼稚園教諭 |
| 〃　〃 | |
| 花係 | 小林 |
| 看板書き | 澤本 |

## 【聖書から】

「御覧なさい。何故、彼らは安息日にしてはならないことをするのか。」
マルコによる福音書二章二四節

ある安息日、主の弟子たちが麦の穂を摘んだという。勿論悪戯にではない。空腹だったのである。二千年前のことである。食料の確保は現代よりはるかに重要視された時代であり、いたずらに、あるいは自分たちは主イエスの弟子であり、旧弊の定め何するものぞ、と高ぶった思いからそのようなことをしたのではなかったと思う。しかしそれを見たファリサイ人にとっては不快なことであった。安息日は週に一度神との出会いの日である。それゆえに神をないがしろにする行為は不敬なことであり、彼らに取って麦の穂を摘むということは神の御前で赦し難い行為に感じられたのである。安息日は食を断ち、肉なる者も出来うる限り肉に属する業を慎み、恭しい心をもって神の御前に出るべきであると彼らは考えたのである。

---

しかしそれは正しい理解であったのだろうか。主イエスのお考えは違っていた。神に相対するに恭しくあり、心を注いで神に出会おうとするその姿は美しい。私たちが真剣に神に向き合おうと願うならばその願いが振舞に表現されるのは大事なことである。問題は安息日に食を断つ、麦の穂を摘むことが不敬なのか、空腹を耐えることが安息日に父なる神が本当に求められるのか？ということである。主はそうではないと言われたと思う。安息日の大事さは何よりも人間に取ってである。肉なる者、出会うことが畏れ多い者が出会うことを許される。出会って下さるのは神の憐れみである。神が懇願して人に出会おうとなさる訳ではない。神は人間に出会わずとも何ら痛みを持たれはしない。出会いが必用なのは人間の側である。そしてその出会いは人間が食物を摂ろうが摂らなかろうが関係ない。必用なことは唯一つ、心からなる願いを持って神に出会うことを望んでいるか、である。それさえあればそれで十分である。形に依存することから自由に、しかし心は溢れる程に神を慕い求めること、それが我らの礼拝である。

## 【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。